



本日のプログラム 第2075回例会 平成28年2月25日

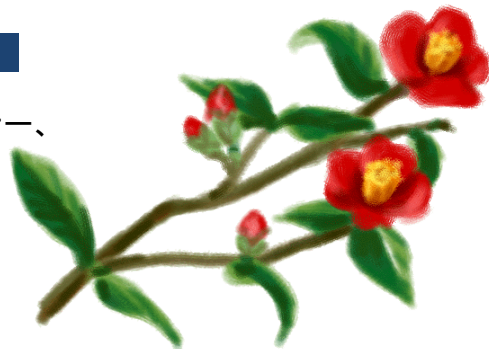
ソング：手に手つないで

行事：職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕部門合同研修セミナー、
クラブ会員数別増強討論会の報告

第2074回例会 平成28年2月18日の記録

会長の時間 濱田直美 会長

みなさんこんばんは。今日は、会長年度始まって一番うれしい日です。森本永年さんと、西智也さん、淵上訓朗さんが入会してくれて、メンバーが35名に増えました。今後ともよろしくお願いします。本日は、ガバナー補佐訪問ですので改めて今年の事業について報告いたします。今年度は、4つの事業を目標に掲げてまいりました。まず、1つ目の野球を通じたフィリピンの子供たちとへの支援と交流については、先月無事皆さんと一緒に行ってまいりました。月信と友にも記事を送りましたので、載せてもらえるかもしれないと期待しています。2つ目の身体障がい者施設「まんまんらい」への支援と交流も、地区の補助金をいただいて無事終わることが出来ました。3つ目の2630地区初のEロータリークラブ設立については、皆様のいろいろなご意見を伺った結果しばらく見送ることにしました。設立時のメンバーとして予定していた4名は、



地区大会時に米山親善大使として講演をした于咏さんのクラブ(愛知ロータリーEクラブ)に私と于咏さんが推薦者で入会させていただく事になりました。4つ目の韓国国際大会への参加につきましては、12月半ばの時点で飛行機もホテルも全く取れずに一時は断念していましたが、先日愛知ロータリーEクラブの旅行会社経営の方にお聞きしたところ愛知県の一色ロータリークラブと一緒にの行程でどうですかと言われたので、そちらに参加することにしました。本当は、クラブでたくさんの方々と行きたかったのですが、フィリピンや新潟、豊田と遠征の多い年だったので申し訳ない気がしています。他クラブとの交流はロータリーのだいご味です、もしご希望がありましたら、濱田まで連絡ください。以上、事業は粛々と進んでおりますことを報告いたします。

幹事報告 西村昭宏 幹事

▼上野、松阪、伊勢南、松阪東、津、松阪山桜ロータリークラブより例会変更のお知らせが届いております。

▼ガバナー事務所より台湾地震災害義援金ご協力のお願いが届いております。

▼新宮ロータリークラブより創立60周年の記念例会並びに祝賀会のご案内が届いております。

▼熊野市交通安全都市推進協議会より交通安全用品寄贈式の開催についてのご案内とランドセルカバーの見積書が届いております。

▼紀南柔道大会牟婁地区柔道会よりタオルを戴いております。

▼伊勢、伊勢中央、横浜戸塚西ロータリークラブより週報を戴いております。

坪井常弘ガバナー補佐卓話



2月13日のクラブ
会員別増強セミナー
に参加しました。
今回は三重県内の
31-49人以下のク
ラブ19クラブ、50
名の参加でした。2

時間30分と言う長時間を使って退会防止・会員維持 増強 女性会員の3つのグループに分かれ意見交換をしました。私の担当は増強の担当で、松阪・東紀州グループからは、熊野は朝尾さんと山桜は清水さんが参加されました。まず、クラブの現況と取組を一人ずつ話してもらいましたが、どうも主催者側の趣旨とは違っていたようです。一つの議題を出して、皆で討論してもらおう方が良かったようです。多くのクラブは、一時期40名を超えていたのですが、少なくなっています。中には68名までいったけど今は38名と半減しているクラブもありました。しかし、逆にチャーターの人数から殆ど変わらないクラブもあり、様々です。

■増強に関して取り組んだ事として近くに女性を入れないクラブがあるので、その受け皿になっているのかもしれないが、33人中9人が女性会員チャーター30人最大55人が40を切って色々取り組んだ。

100%出席が入会を難しくしているのかもしれないので、緩くしたので、勧誘しやすくなったが効果なかった。会費30万円から24万円にしたが効果なかった。女性を3人から力を入れ5人になったが、結局退会の時に連れられてしまい2人になってしまった、地域の有力者に入ってもらったが、5人連れてやめてしまった。増強に力を入れ、9名入ったが次の年に4名辞めた。夜間例会に招待したが、効果なかった。例会に招待して招待者がその気になってくれたが、理事会で入会を拒否さ

れ、断るのに苦労したと言うクラブが複数あった。退会者の中から、4人再入会してもらったが、2名だけ残った。一言で判るようなパンフレットを作ったが、これはまだ試していない。JC卒業生の取り合いがある。

■うまく行っていること

高齢者が退会するとき2世の会員に入ってもらいその結果2世会員が多い。仕事が忙しくなって例会に出られない人は退会を認めてあげて、余裕がきたら再入会してもらった事例がある。野球部の活動を通して、会員が集まった。ガバナー杯に向けて活発な活動を行っていて、補助金も出るので助かる。野球を通して、色んな出会いがあった。人望の厚い会員（顔が広く地域で尊敬されている人）が推薦して入会者をしっかりと面倒みるのが大切。財団の奨学生が地元に戻ってきて、入ってもらった。設立43年になる。当時の人口は27,000人で24名11,000人に一人がロータリアン。今17,900人で35人500人に一人がロータリアンとなり、増強は成功していると思う。

■増強に際しての問題点

100%出席必須としていた、60人まで増えたがそれが負担で多くが辞めてしまった。声の大きな人を中心としたグループが出来てしまいクラブの雰囲気が悪くなっていたところ、退会したのだがそのグループ全員が退会してしまった。やみくもに入れると、クラブ全体の雰囲気が悪くなる。若い人は第1戦で働いているので、例会に来れない人を入会させると、辞めてしまう。50歳以上が安定しているのではないか。ロータリーってどんどこころなのかをはっきり言えない。高齢化して退会者が続いている。100%出席にこだわりすぎているのではないか。入会候補の人選に苦労する。

■ 増強を妨げている意見として

単なるボランティア団体になり下がっている。ボランティアをしたいのならわざわざロータリーに入る必要が無い。仲良しクラブになり下がっていると言ってやめた人がいた。ロータリアンの資質を求めたほうが良い。量より質である。(この意見は複数あった。ロータリアンとしての誇りを持っている人が多い)ロータリアンとしてのレベルアップが求められている。

簡単に誘うのも疑問で、誰でも良いわけではない。入りやすいはずい、中々入れないクラブになる必要がある。

■ 理想的な人数として、多くのクラブが50人以上だった事もあり、30人を切ると奉仕活動も思うように出来ないし、クラブそのものの維持も難しくなる。40人から50人が良いのではないかと言う意見が多かった。と言う事で、結局増強の特効薬は無い事だけははっきりと分かりました。

クラブの中に地域で魅力のある人がいると、その人と話したいとか友達になりたいとかで集まってくることもあるのではないのでしょうか。そのように考えますと、私たち全員がもっと人間力を磨いて魅力のある人に成長する事が大切なのではないのでしょうか。目指すところは、クラブに入りたいと思ってもらえるような人の集まりのクラブとなることと思いました。もう少しいいますと、6,000人の中には色々な人が居たので、退会が続き半分になってしまったが、この3,000人の多くはロータリーに入って良かったと実感している人ではないのでしょうか。ロータリーのバッチを付けることがステータスとだけ考えている人は今のこの地区には居ないと思います。結局、ご縁あって入会した自分が所属するクラブ、そして、ロータリアンとしての愛があるのかどうかと言うところだと思います。「愛そう、ロータリークラブ」と思ったら、少くくは我慢できるし、積極的にかかわれるし、それが、自分の人生を豊かにしてくれると思

ます。ロータリーに入って良かったと思って死にたいものです。最後に職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の研修会に次の日に行きましたので、その感想を述べます。RIの目指す方向が今までのI SERVE からWE SERVEに向かっているので注意が必要と言う事だったように思います。私の個人の意見ですが、不易流行でこれからも取り組んでいけばいいのではないのでしょうか。自分のクラブで変えないで続けていく事を大切にして、たとえ2016年度版の手続き要覧が出てちょっと違うな一と感じた事があってもそれを自分のクラブなりに解釈して行けばいいのではないのでしょうか。ロータリーの精神でも日本人なりの精神でロータリーを楽しむ事が一番と思います。今回の例会では、3名の新会員の入会記念の例会と聞いています。改めて入会おめでとうございます。尾鷲ロータリーに入会してしばらく経ったときに熊野ロータリークラブの事業に参加させてもらいました。その時に上野東ロータリーの宮田さんに初めて名刺交換させていただいた際に言われた事を思い出します。「ロータリーは真面目にやらなあかんよ」これでハッと気づき現在に至っています。ロータリーが楽しくなるまでには何年もかかると思いますが、せっかくご縁をいただき入ったクラブです。真面目にやっていたらその内に楽しくなってきます。ロータリアンとして一番大切な奉仕はクラブ奉仕です。例会に出ることはもっとも大切なことです。例会に出る事は難しい事かもしれませんが、無理をしない程度に例会に出る工夫をしてください。何年かした時に、ロータリーに入って良かったと心から思う日が必ず来ますので、この事を信じてロータリーライフを楽しんでください。最後に、1974年—75年のRI会長テーマは「ロータリーの第一の仕事は人をつくること」ロータリーは色々な解釈がありますが、ロータリーの仲間と友達になり色々な良い影響を受けて、豊かな人生を送っていただけなら最高です。

入会式

淵上訓朗 会員



昭和51年6月27日生れ
事業所名 (株) 淵上組
住所 熊野市金山町
620-26
職業分類 建築業
推薦者 大崎順敬会員

森本永年 会員



昭和50年2月5日生れ
事業所名 永年建築
住所 熊野市木本町
119-21
職業分類 建築業
推薦者 山門弘毅会員

西智也 会員



昭和51年6月17日生れ
事業所名 西建設
住所 熊野市木本町
705-1
職業分類 建設業
推薦者 大崎順敬会員



ニコニコBOX

坪井ガバナー補佐様…本日はよろしくお願ひします。

会長・幹事…坪井ガバナー補佐本日はありがとうございます。西さん、森本さん、淵上さん入会おめでとうございます。本日も出席ありがとうございます。

職業・社会・国際奉仕部門研修セミナー参加者…研修セミナーに参加させて頂いて。

朝尾 高明…13日土曜日会員増強研修セミナーに参加しました。坪井ガバナー補佐ご苦労様でした。

前田 衣代…坪井ガバナー補佐ようこそ。忘れた頃のパレンタインと言うより今夜のデザートです。

井上 登…坪井ガバナー補佐ようこそ。ごゆっくりして行って下さい。

和田幹夫・野地俊行…ガバナー補佐をお迎えして。

大崎 順敬…森本永年君、淵上訓、西君、入会おめでとう。ロータリーは思ったよりきびしいぞ！

山門 弘毅…森本永年君、入会おめでとう。

平谷 一人…新年会欠席申し訳ありませんでした。

榎本 正一…前田さん和田さんチョコレートありがとう。

山口 訓士…お誕生日のお祝いを頂いて。

斎藤友紀・片岡博也・大崎順敬・赤阪俊一・前田武久・田端稔充・森本衛・井上登…ビール事務局員和田…2週間もお休みさせて頂き、ありがとうございました。

出席報告

和田幹夫 出席委員長

会員数 35名 出席数 25名 欠席数 10名

出席率 71.42% 修正 77.14%

次回第2076回例会

3月3日：外来卓話

向井浩高 氏